

2課

神を知る

4月11日

安息日午後

4月4日

暗証聖句

永遠の命とは、唯一のまことの神であられるあなたと、あなたのお遣わしになったイエス・キリストを知ることです。(ヨハネ 17:3、新共同訳)

永遠の命とは、唯一の、まことの神でいますあなたと、また、あなたがたかわされたイエス・キリストとを知ることです。(ヨハネ 17:3、口語訳)

今週の聖句

創世記 3:1~5、レビ記 20:26、サムエル記上 2:2、I ヨハネ 4:7~19、
創世記 1:1、創世記 2:7、マタイ 1:23、マタイ 28:20

今週のテーマ

神の品性を明確に理解することは、神との強い関係を築くうえで基礎となります。ですから今週は、[エレン・ホワイトの]次の指摘に心を留めながら、神の品性について聖書が述べていることを注意深く見ていくことにしましょう。「世界は、神に関する誤った解釈の暗黒に覆われている。人々は、神の品性の知識を見失い、それを誤解し、誤って解釈している。この時にあたって、神からのメッセージ(使命)、良き感化を与え、救いの力を持ったメッセージ(使命)を宣言しなければならない。神の品性を明らかにしなければならない。世界の暗黒の中に、神の栄光の光、恵みと憐れみと真理の光が輝かなければならない。……世界に伝えるべき最後の憐れみのメッセージ(使命)は、神の愛の啓示である」(『希望への光』1350ページ、『キリストの実物教訓』第29章)。

神について十分に説明することは、不可能に思えます。ですから、私たちにできる最善のことは、聖書が神について何と語っているかを指し示すことです。私たちは神のすばらしい品性を、特に今は、知り尽くすことはできませんが、それでも、神をより学ぶにつれて、神に対する理解と神への愛が深まり、最終的に、神にもっと近づきたいと願うようになるよう祈りましょう。そうすることで、神の愛と品性をほかの人に映し出すことができます。

聖書は、最も真実で、最も鮮明で、最も一貫した神の姿を示しています。聖書全体の目的は、目に見える世界と目に見えない世界の間にある、見えないバールを取り払うことにあります。すなわち、私たちがどこから来て、どこへ向かっているのかを示し、そして究極的には、誰が支配しているのか、その支配者がどんなお方であるのかを示しているのです。

創世記から黙示録に至るまで、そこに書かれているのは、唯一の真の神についてです。神は、聖書を通して、また受肉された神であるイエス・キリストを通して、ご自身がどのような方であることを示しておられます。聖書には、神の全能(ヨブ 1:12)、神の全知(イザ 46:9, 10)、神の正義〔口語訳:神の公平〕(同 30:18)、神の憐れみ〔口語訳:恵み〕(申 7:9)、私たちに對する神の慈愛と忍耐(ロマ 2:4)、神の知恵(Ⅰコリ 2:7)、神の恵み(Ⅱコリ 12:9)、神の赦し〔ゆるし〕(マタ 6:14)、私たちの人生に對する神の意志(エレ 29:11)、死を打ち負かす神の力(ヨハ 11:25)、神の王権(詩編 47:9〔口語訳 詩篇 47:8])、神の永遠性(申 33:27)など、私たちが神を愛し、神との永続的な関係を持つべき理由となる多くの特徴が記されています。神について、また神がどのようなお方であるかについて知れば知るほど、私たちは神を愛し、神との親密で永続的な関係を望むようになるでしょう。

神の品性を最初に疑ったのは、ルシファーでした。神とは何者なのかという疑いが、最終的に宇宙史上最大の戦いをもたらすことになりました。それ以来、「神の知識を得ることを妨げるような物事で人の心を占領しておくことが、サタン¹の絶え間ない研究である」(『教会への証』第5巻 740 ページ、英文 “it is Satan’s constant study to keep the minds of men occupied with those things which will prevent them from obtaining the knowledge of God.”)。私たちが神についてどんなイメージ(汎神論、無神論、理神論など)を持ってしようと、それが正確なものでない限り、サタンは気にしません。

問1 創世記 3:1～5 を読んでください。サタンがエバと会話した目的は、何だったのでしょうか。神の品性について、彼はエバにどんな嘘をつきましたか。

結局のところ、サタンがエバに伝えたメッセージは、次のとおりでした。「神はあなたに隠し事をしている。神はあなたにとって最善のものを望んでいない。だから、神を信頼してはならない」。エレン・ホワイトは、この点をさらに詳しく述べています。「大争闘の初めから、神の性格を誤解させ、その律法に反逆させることがサタンの意図したところであった」(『希望への光』172, 173 ページ、『人類のあけぼの』第29章)。

【参考】英語テキストにある文

How is God's character misrepresented in our world? More important, how might you, at times, have misrepresented His character to others? If you have, what can you do to change with the Holy Spirit's help? How can you show God's love to the people around you?

この世では、神の品性はどのように誤解されているでしょうか。さらに重要なのは、あなた自身が、時に他の人々に神の品性を誤って伝えてしまったことはないでしょうか。もしそうであれば、聖霊の助けを借りて、あなたは変わるために何ができるでしょうか。また、周りの人々に向けて、どのように神の愛を示していけるでしょうか。

12

ヨブ 1:12 (新共同訳)

1:12 主はサタンに言われた。「それでは、彼のものを一切、お前のいいようにしてみるがよい。ただし彼には、手を出すな。」/サタンは主のもとから出て行った。

イザ 46:9、10 (新共同訳)

46:9 思い起こせ、初めからのことを。わたしは神、ほかにはいない。わたしは神であり、わたしのような者はいない。

46:10 わたしは初めから既に、先のことを告げ/まだ成らないことを、既に昔から約束しておいた。わたしの計画は必ず成り/わたしは望むことをすべて実行する。

イザ 30:18 (新共同訳)

30:18 それゆえ、主は恵みを与えようとして/あなたたちを待ち/それゆえ、主は憐れみを与えようとして/立ち上がられる。まことに、主は正義の神。なんと幸いなことが、すべて主を待ち望む人は。

申 7:9 (新共同訳)

7:9 あなたは知らねばならない。あなたの神、主が神であり、信頼すべき神であることを。この方は、御自分を愛し、その戒めを守る者には千代にわたって契約を守り、慈しみを注がれるが、

ロマ 2:4 (新共同訳)

2:4 あるいは、神の憐れみがあなたを悔い改めに導くことも知らないで、その豊かな慈愛と寛容と忍耐とを軽んじるのですか。

1 コリ 2:7 (新共同訳)

2:7 わたしたちが語るのは、隠されていた、神秘としての神の知恵であり、神がわたしたちに栄光を与えるために、世界の始まる前から決めておられたものです。

ヨブ 1:12 (口語訳)

1:12 主はサタンに言われた、「見よ、彼のすべての所有物をあなたの手にまかせろ。ただ彼の身に手をつけてはならない」。サタンは主の前から出て行った。

イザ 46:9、10 (口語訳)

46:9 いにしえよりこのかたの事をおぼえよ。わたしは神である、わたしのほかに神はない。わたしは神である、わたしと等しい者はない。

46:10 わたしは終りの事を初めから告げ、まだなされない事を昔から告げて言う、『わたしの計りごととは必ず成り、わが目的をことごとくなし遂げる』と。

イザ 30:18 (口語訳)

30:18 それゆえ、主は待っていて、あなたがたに恵を施される。それゆえ、主は立ちあがって、あなたがたをあわれまれる。主は公平の神でいらせられる。すべて主を待ち望む者はさいわいである。

申 7:9 (口語訳)

7:9 それゆえあなたは知らなければならぬ。あなたの神、主は神にましまし、真実の神にましまして、彼を愛し、その命令を守る者には、契約を守り、恵みを施して千代に及び、

ロマ 2:4 (口語訳)

2:4 それとも、神の慈愛があなたを悔改めに導くことも知らないで、その慈愛と忍耐と寛容との富を軽んじるのか。

1 コリ 2:7 (口語訳)

2:7 むしろ、わたしたちが語るのは、隠された奥義としての神の知恵である。それは神が、わたしたちの受ける栄光のために、世の始まらぬ前から、あらかじめ決めておかれたものである。

Ⅱコリ 12:9 (新共同訳)

12:9 すると主は、「わたしの恵みはあなたに十分である。力は弱さの中でこそ十分に発揮されるのだ」と言われました。だから、キリストの力がわたしの内に宿るように、むしろ大いに喜んで自分の弱さを誇りましょう。

マタ 6:14 (新共同訳)

6:14 もし人の過ちを赦すなら、あなたがたの天の父もあなたがたの過ちをお赦しになる。

エレ 29:11 (新共同訳)

29:11 わたしは、あなたたちのために立てた計画をよく心に留めている、と主は言われる。それは平和の計画であって、災いの計画ではない。将来と希望を与えるものである。

ヨハ 11:25 (新共同訳)

11:25 イエスは言われた。「わたしは復活であり、命である。わたしを信じる者は、死んでも生きる。

詩 47:9 (新共同訳)

47:9 神は諸国の上に王として君臨される。神は聖なる王座に着いておられる。

申 33:27 (新共同訳)

33:27 いにしえの神は難を避ける場所/とこしえの御腕がそれを支える。神はあなたの前から敵を追い散らし/「滅ぼし尽くせ」と言われた。

創 3:1~5 (新共同訳)

3:1 主なる神が造られた野の生き物のうちで、最も賢いのは蛇であった。蛇は女に言った。「園のどの木からも食べてはいけない、などと神は言われたのか。」

3:2 女は蛇に答えた。「わたしたちは園の木の果実を食べてもよいのです。

3:3 でも、園の中央に生えている木の果実だけは、食べてはいけない、触れてもいけない、死んではいけないから、と神様はおっしゃいました。」

3:4 蛇は女に言った。「決して死ぬことはない。

3:5 それを食べると、目が開け、神のよう

Ⅱコリ 12:9 (口語訳)

12:9 ところが、主が言われた、「わたしの恵みはあなたに対して十分である。わたしの力は弱いところに完全にあらわれる」。それだから、キリストの力がわたしに宿るように、むしろ、喜んで自分の弱さを誇ろう。

マタ 6:14 (口語訳)

6:14 もしも、あなたがたが、人々のあやまちをゆるすならば、あなたがたの天の父も、あなたがたをゆるして下さるであろう。

エレ 29:11 (口語訳)

29:11 主は言われる、わたしがあなたがたに対していただいている計画はわたしが知っている。それは災えを与えるというのではなく、平安を与えようとするものであり、あなたがたに将来を与え、希望を与えようとするものである。

ヨハ 11:25 (口語訳)

11:25 イエスは彼女に言われた、「わたしはよみがえりであり、命である。わたしを信じる者は、たとえ死んでも生きる。

詩 47:8 (口語訳)

47:8 神はもろもろの国民を統べ治められる。神はその聖なるみくらに座せられる。

申 33:27 (口語訳)

33:27 とこしえにいます神はあなたのすみかであり、下には永遠の腕がある。敵をあなたの前から追い払って、『滅ぼせ』と言われた。

創 3:1~5 (口語訳)

3:1 さて主なる神が造られた野の生き物のうちで、へびが最も狡猾であった。へびは女に言った、「園にあるどの木からも取って食べるなど、ほんとうに神が言われたのですか」。

3:2 女はへびに言った、「わたしたちは園の木の実を食べることは許されていますが、

3:3 ただ園の中央にある木の实については、これを取って食べるな、これに触れるな、死んではいけないからと、神は言われました」。

3:4 へびは女に言った、「あなたがたは決して死ぬことはないでしょう。

3:5 それを食べると、あなたがたの目が

に善悪を知るものとなることを神はご存
じなのだ。」

開け、神のように善悪を知る者となるこ
とを、神は知っておられるのです」。

月曜日 4月6日 神は聖である

「聖^{きよ}さ」という言葉は、日常会話の中であまり使われません。おそらく、私たちの周りに聖いものがほとんどないからでしょう。安息日は、時間的に聖なる日であり、神は、言うまでもなく、聖なるお方です。神から離れてしまえば、私たちの日々の生活は聖さを欠いたものになります。

神の品性と最もよく結びつけられる属性を研究してみると、聖さが神の本質の中心にあることがわかります。しかし、それは何を意味するのでしょうか。

問2 次の聖句(レビ 20:26、サム上 2:2、イザ 57:15、エゼ 38:23)は、神をいかに描写していますか。

聖書が神を聖さそのものだと表現するとき、それは、神が悪や罪とは完全に無縁であり、それらから完全に切り離されていることを意味します。神は、隅から隅まで100パーセント善なのです。その意味で、神の聖さは、神のほかのすべての属性の基礎になっています。

例えば、神の愛は、純粋で聖なる愛、つまりあらゆる利己心や自己中心的な動機をまったく含まない愛です。神の全知は、聖なる全知であり、それには悪意が含まれません。もし全知なる神が聖なる神でないなら、あなたはその神を信頼できるでしょうか。もちろん信頼できません!むしろ、当然のことながら、その神を恐れるでしょう。

神の全能は、聖なる全能です。全能でありながら、聖くない神を想像してみてください。そんな神は、力の強い邪悪な暴君になるかもしれません。神の聖さだけが、私たちが神を心から愛することを可能にします。なぜなら神は、隅から隅まで善だからです。これが、聖さが神の品性を理解するうえで、おそらく最も重要な特徴である理由です。しかしそれは同時に、おそらく最も誤解されている特徴の一つでもあります。

モーセ、イザヤ、エゼキエル、ダニエル、ヨハネなど、神の御前に出た聖書の登場人物について考えてください。彼らの最初の反応はどうでしたか。履物を脱いだり、顔を隠したり、死んだように倒れたりしました。人間である私たちは、罪深く、あまりにも汚れているので、神の御前に立つことに耐えられません。神の御顔を見る人間は、誰も生きていられません。同様にエレン・ホワイトも幻を見たとき、「聖なるかな、聖なるかな、聖なるかな」としばしば叫びました。その言葉が目にしたもの

を最もよくあらわしていると思えたからです。そしてもちろん、四つの生き物は、「聖なるかな、聖なるかな、聖なるかな、全能者である神、主」〔口語訳「聖なるかな、聖なるかな、聖なるかな、全能者にして主なる神」〕(黙4:8)と、昼も夜も絶え間なく言い続けています。

【参考】英語テキストにある文

Truly, God is pure holiness, and when we come to Him, we must see Him as such. How does knowing this inspire you? In what ways does this challenge you regarding your own character?

まことに、神は純粋で聖なるお方であり、私たちが神のみもとに行くときは、そのようなお方として神を見なすはずです。このように知ることは、あなたにどんな励ましを与えてくれますか。このことは、あなた自身の性格について、どのような点であなたに課題を投げかけますか。

13

レビ 20:26 (新共同訳)

20:26 あなたたちはわたしのもとなり、聖なる者となりなさい。主なるわたしは聖なる者だからである。わたしはあなたたちをわたしのものとするため諸国の民から区別したのである。

サム上 2:2 (新共同訳)

2:2 聖なる方は主のみ。あなたと並ぶ者はだれもない。岩と頼むのはわたしたちの神のみ。

イザ 57:15 (新共同訳)

57:15 高く、あがめられて、永遠にいましその名を聖と唱えられる方がこう言われる。わたしは、高く、聖なる所に住み/打ち砕かれて、へりくだる霊の人と共にあり/へりくだる霊の人に命を得させ/打ち砕かれた心の人に命を得させる。

エゼ 38:23 (新共同訳)

38:23 わたしは自らの偉大さと聖とを多くの国々の前に示す。そのとき、彼らはわたしが主であることを知るようになる。

黙 4:8 (新共同訳)

4:8 この四つの生き物には、それぞれ六つの翼があり、その周りにも内側にも、一面に目があつた。彼らは、昼も夜も絶え間なく言い続けた。「聖なるかな、聖なるかな、聖なるかな、全能者である神、主、かつておられ、今おられ、やがて来られる方。」

レビ 20:26 (口語訳)

20:26 あなたがたはわたしに対して聖なる者でなければならない。主なるわたしは聖なる者で、あなたがたをわたしのものにしようと、他の民から区別したからである。

サム上 2:2 (口語訳)

2:2 主のように聖なるものはない、あなたのほかには、だれもない、われわれの神のような岩はない。

イザ 57:15 (口語訳)

57:15 いと高く、いと上なる者、とこしえに住む者、その名を聖となえられる者がこう言われる、「わたしは高く、聖なる所に住み、また心砕けて、へりくだる者と共に住み、へりくだる者の霊をいかし、砕けたる者の心をいかす。

エゼ 38:23 (口語訳)

38:23 そしてわたしはわたしの大いなることと、わたしの聖なることとを、多くの国民の目に示す。そして彼らはわたしが主であることを悟る。

黙 4:8 (口語訳)

4:8 この四つの生き物には、それぞれ六つの翼があり、その翼のまわりも内側も目で満ちていた。そして、昼も夜も、絶え間なくこう叫びつづけていた、「聖なるかな、聖なるかな、聖なるかな、全能者にして主なる神。昔いまし、今いまし、やがてきたるべき者」。

「愛」は、たぶんクリスチャンが神の品性をあらわすために最もよく使う言葉でしょう。それは、「神は愛……です」〔口語訳「神は愛である」〕という神の本質に関する記述がⅠヨハネ 4:8にあるからかもしれません。ヨハネは、「神は愛しておられる」とは記さず、「神は愛です」〔口語訳「神は愛である」〕と記しました。愛は神の品性、神の本質そのものなのです。

多くの人にとって、神のイメージは、自分自身の人間的な愛の定義から生まれますが、それは常に歪んでいて不完全です。むしろ、私たちの愛の定義は、靈感を受けた御言葉の中で、神がどのようなお方であるか、また神がご自身についてどのように明らかされているかによって、形作られるべきです。

問3 Ⅰヨハネ 4:7~19 は、愛について何と説明していますか。

神の愛は、完全であり、無償であり、深い関係性に基づいています。そのことは、Ⅰヨハネに繰り返し出てくる、神の内に「とどまる」〔口語訳：神にお(る)〕という招きに示されています。「わたしたちは、わたしたちに対する神の愛を知り、また信じています。神は愛です。愛にとどまる人は、神の内にとどまり、神もその人の内にとどまってください(る)」〔口語訳「わたしたちは、神がわたしたちに対して持っておられる愛を知り、かつ信じている。神は愛である。愛のうちにいる者は、神におり、神も彼にいます」〕(Ⅰヨハ 4:16)からです。神は愛であり、ご自分にかたどって人間を創造されました(創 1:27)。それは、私たちが愛し、愛を求める者となるためです。ヘブライ(ヘブル)語で愛をあらわす主要な言葉の一つに「ヘセッド」があります。それは、人類に対する神の契約的な愛をあらわし、忠実さ、守ろうとする姿勢、揺るがぬ誠実さ、優しさといった特質を含みます。

古代のヘブライ(ヘブル)語やギリシア語は、神を指すためにさまざまな名前を用いており、それらの名前は、神のすばらしい品性のさまざまな側面を明らかにする意味を捉えています。以下に二つだけ例を挙げましょう。

- 「アドナイ」〔新共同訳・口語訳「主」〕——(契約に関連して、)すべてのものを永遠に支配される(創 15:2、士師 6:15、マラ 1:6、詩編〔詩篇〕97:5)。
- 「ヤーウェ・イルエ」〔口語訳「アドナイ・エレ」〕——主は備えてくださる(創 22:13、14)。

結局、神の愛が最大限にあらわされたのは、御子をこの世に与え(ヨハ 3:16)、御子が罪人のために死んでくださった(ロマ 5:8)ことを通してでした。神はこの愛を人類に与えないこともできましたが、寛大で、利他的な愛のゆえに、イエスを地上に遣わされました。それは、イエスの身代わりの死によって明らかにされた神の愛に、私たちが応えることを自由に選べるようにするためでした。イエスは、罪が私た

ちと神との間にもたらした隔たりを埋めるだけでなく(イザ 59:1, 2)、神の完全な愛の品性を示し(ヨハ 14:9、ヘブ 1:3)、すべての人をご自身に引き寄せるために(ヨハ 12:32)生きられました。

【参考】英語テキストにある文

Many of God's names capture His holiness and love at their core. Read 1 Corinthians 13:4-8 (NKJV), and in every case, replace the word "love" with "God." How does this expand your understanding of God's character? If you were to place your name where it says "love," how well would that fit you?

神の御名の多くは、その中心に神の聖さと愛を表しています。I コリント13:4~8を読んで、すべての個所で「愛」という言葉を「神」に置き換えてみてください。そうすることで、神の品性に関するあなたの理解はどのように深まりますか。もし「愛」と書かれている部分に自分の名前を置き換えたら、それはあなたにどれほど当てはまるでしょうか。

14

I ヨハ 4:7~19 (新共同訳)

4:7 愛する者たち、互いに愛し合ひましょう。愛は神から出るもので、愛する者は皆、神から生まれ、神を知っているからです。

4:8 愛することのない者は神を知りません。神は愛だからです。

4:9 神は、独り子を世にお遣わしになりました。その方によって、わたしたちが生きようになるためです。ここに、神の愛がわたしたちの内に示されました。

4:10 わたしたちが神を愛したのではなく、神がわたしたちを愛して、わたしたちの罪を償ういけにえとして、御子をお遣わしになりました。ここに愛があります。

4:11 愛する者たち、神がこのようにわたしたちを愛されたのですから、わたしたちも互いに愛し合うべきです。

4:12 いまだかつて神を見た者はいません。わたしたちが互いに愛し合うならば、神はわたしたちの内にとどまってくださり、神の愛がわたしたちの内ですべて全うされているのです。

4:13 神はわたしたちに、御自分の霊を分け与えてくださいました。このことから、わたしたちが神の内にとどまり、神もわ

I ヨハ 4:7~19 (口語訳)

4:7 愛する者たちよ。わたしたちは互に愛し合おうではないか。愛は、神から出たものなのである。すべて愛する者は、神から生れた者であって、神を知っている。

4:8 愛さない者は、神を知らない。神は愛である。

4:9 神はそのひとり子を世につかわし、彼によってわたしたちを生きるようにして下さった。それによって、わたしたちに対する神の愛が明らかにされたのである。

4:10 わたしたちが神を愛したのではなく、神がわたしたちを愛して下さって、わたしたちの罪のためにあがないの供え物として、御子をおつかわしになった。ここに愛がある。

4:11 愛する者たちよ。神がこのようにわたしたちを愛して下さったのであるから、わたしたちも互に愛し合うべきである。

4:12 神を見た者は、まだひとりもない。もしわたしたちが互に愛し合うなら、神はわたしたちのうちにいまし、神の愛がわたしたちのうちに全うされるのである。

4:13 神が御霊をわたしたちに賜わったことによって、わたしたちが神におり、神がわたしたちにいますことを知る。

た私たちの内にとどまってくださることが分かります。

4:14 わたしたちはまた、御父が御子を世の救い主として遣わされたことを見、またそのことを証しています。

4:15 イエスが神の子であることを公に言い表す人はだれでも、神がその人の内にとどまってくださり、その人も神の内にとどまります。

4:16 わたしたちは、わたしたちに対する神の愛を知り、また信じています。神は愛です。愛にとどまる人は、神の内にとどまり、神もその人の内にとどまってくださいます。

4:17 こうして、愛がわたしたちの内にも全うされているので、裁きの日に確信を持つことができます。この世でわたしたちも、イエスのようであるからです。

4:18 愛には恐れがない。完全な愛は恐れを締め出します。なぜなら、恐れは罰を伴い、恐れる者には愛が全うされていないからです。

4:19 わたしたちが愛するのは、神がまずわたしたちを愛してくださったからです。

創 1:27 (新共同訳)

1:27 神は御自分にかたどって人を創造された。神にかたどって創造された。男と女に創造された。

創 15:2 (新共同訳)

15:2 アブラムは尋ねた。「わが神、主よ。わたしに何をくださるというのですか。わたしには子供がありません。家を継ぐのはダマスコのエリエゼルです。」

士師 6:15 (新共同訳)

6:15 彼は言った。「わたしの主よ、お願いします。しかし、どうすればイスラエルを救うことができますでしょう。わたしの一族はマナセの中でも最も貧弱なものです。それにわたしは家族の中でいちばん年下の者です。」

マラ 1:6 (新共同訳)

1:6 子は父を、僕は主人を敬うものだ。しかし、わたしが父であるなら/わたしに対する尊敬はどこにあるのか。わたしが主人であるなら/わたしに対する畏れはど

4:14 わたしたちは、父が御子を世の救主としておつかわしになったのを見て、そのあかしをするのである。

4:15 もし人が、イエスを神の子と告白すれば、神はその人のうちにいまし、その人は神のうちにいるのである。

4:16 わたしたちは、神がわたしたちに対して持つておられる愛を知り、かつ信じている。神は愛である。愛のうちにいる者は、神におり、神も彼にいます。

4:17 わたしたちもこの世にあって彼のように生きているので、さばきの日に確信を持つて立つことができる。そのことによって、愛がわたしたちに全うされているのである。

4:18 愛には恐れがない。完全な愛は恐れをとり除く。恐れには懲らしめが伴い、かつ恐れる者には、愛が全うされていないからである。

4:19 わたしたちが愛し合うのは、神がまずわたしたちを愛して下さったからである。

創 1:27 (口語訳)

1:27 神は自分のかたちに人を創造された。すなわち、神のかたちに創造し、男と女とに創造された。

創 15:2 (口語訳)

15:2 アブラムは言った、「主なる神よ、わたしには子がなく、わたしの家を継ぐ者はダマスコのエリエゼルであるのに、あなたはわたしに何をくださろうとするのですか」。

士師 6:15 (口語訳)

6:15 ギデオンは主に言った、「ああ主よ、わたしはどうしてイスラエルを救うことができますでしょうか。わたしの氏族はマナセのうちで最も弱いものです。わたしはまたわたしの父の家族のうちで最も小さいものです」。

マラ 1:6 (口語訳)

1:6 「子はその父を敬い、しもべはその主人を敬う。それでわたしがもし父であるならば、あなたがたのわたしを敬う事実が、どこにあるか。わたしがもし主人で

こにあるのかと/万軍の主はあなたたちに言われる。わたしの名を軽んずる祭司たちよ/あなたたちは言う/我々はどのようにして御名を軽んじましたか、と。

詩 97:5 (新共同訳)

97:5 山々は蠟のように溶ける/主の御前に、全地の主の御前に。

創 22:13、14 (新共同訳)

22:13 アブラハムは目を凝らして見回した。すると、後ろの木の茂みに一匹の雄羊が角をとられていた。アブラハムは行ってその雄羊を捕まえ、息子の代わりに焼き尽くす献げ物としてささげた。

22:14 アブラハムはその場所をヤーウエ・イル工(主は備えてくださる)と名付けた。そこで、人々は今日でも「主の山に、備えあり(イエラ工)」と言っている。

ヨハ 3:16 (新共同訳)

3:16 神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。独り子信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。

ロマ 5:8 (新共同訳)

5:8 しかし、わたしたちがまだ罪人であったとき、キリストがわたしたちのために死んでくださったことにより、神はわたしたちに対する愛を示されました。

イザ 59:1、2 (新共同訳)

59:1 主の手が短くて救えないのではない。主の耳が鈍くて聞こえないのでもない。

59:2 むしろお前たちの悪が/神とお前たちとの間を隔て/お前たちの罪が神の御顔を隠させ/お前たちに耳を傾けられるのを妨げているのだ。

ヨハ 14:9 (新共同訳)

14:9 イエスは言われた。「フィリポ、こんなに長い間一緒にいるのに、わたしが分かっているのか。わたしを見た者は、父を見たのだ。なぜ、『わたしたちに御父をお示してください』と言うのか。

ヘブ 1:3 (新共同訳)

1:3 御子は、神の栄光の反映であり、神の本質の完全な現れであって、万物を御自分の力ある言葉によって支えておられますが、人々の罪を清められた後、天の高

あるならば、わたしを恐れる事実が、どこにあるか。わたしの名を侮る祭司たちよ、と万軍の主はあなたがたに言われる。ところがあなたがたは『われわれはどんなふうにあなたの名を侮ったか』と言い、

詩 97:5 (口語訳)

97:5 もろもろの山は主のみ前に、全地の主のみ前に、ろうのように溶けた。

創 22:13、14 (口語訳)

22:13 この時アブラハムが目をあげて見ると、うしろに、角をやぶに掛けている一頭の雄羊がいた。アブラハムは行ってその雄羊を捕え、それをその子のかわりに燔祭としてささげた。

22:14 それでアブラハムはその所の名をアドナイ・エと呼んだ。これにより、人々は今日もなお「主の山に備えあり」と言う。

ヨハ 3:16 (口語訳)

3:16 神はそのひとり子を賜わったほどに、この世を愛して下さった。それは御子を信じる者がひとりも滅びないで、永遠の命を得るためである。

ロマ 5:8 (口語訳)

5:8 しかし、まだ罪人であった時、わたしたちのためにキリストが死んで下さったことによって、神はわたしたちに対する愛を示されたのである。

イザ 59:1、2 (口語訳)

59:1 見よ、主の手が短くて、救い得ないのではない。その耳が鈍くて聞き得ないのでもない。

59:2 ただ、あなたがたの不義があなたがたと、あなたがたの神との間を隔てたのだ。またあなたがたの罪が主の顔をおおったために、お聞きにならないのだ。

ヨハ 14:9 (口語訳)

14:9 イエスは彼に言われた、「ピリポよ、こんなに長くあなたがたと一緒にいるのに、わたしがわかっていないのか。わたしを見た者は、父を見たのである。どうして、わたしたちに父を示してほしいと、言うのか。

ヘブ 1:3 (口語訳)

1:3 御子は神の栄光の輝きであり、神の本質の真の姿であって、その力ある言葉をもって万物を保っておられる。そして罪のきよめのわざをなし終えてから、い

い所におられる大いなる方の右の座にお
着きになりました。

ヨハ 12:32 (新共同訳)

12:32 わたしは地上から上げられるとき、
すべての人を自分のもとへ引き寄せよ
う。」

I コリ 13:4~8 (新共同訳)

13:4 愛は忍耐強い。愛は情け深い。ねた
まない。愛は自慢せず、高ぶらない。

13:5 礼を失せず、自分の利益を求めず、
いらだたず、恨みを抱かない。

13:6 不義を喜ばず、真実を喜ぶ。

13:7 すべてを忍び、すべてを信じ、すべ
てを望み、すべてに耐える。

13:8 愛は決して滅びない。預言は廃れ、
異言はやみ、知識は廃れよう、

と高き所にいます大能者の右に、座につ
かれたのである。

ヨハ 12:32 (口語訳)

12:32 そして、わたしがこの地から上げ
られる時には、すべての人をわたしのと
ころに引きよせるであろう」。

I コリ 13:4~8 (口語訳)

13:4 愛は寛容であり、愛は情深い。また、
ねたむことをしない。愛は高ぶらない、
誇らない。

13:5 不作法をしない、自分の利益を求め
ない、いらだたない、恨みをいだかない。

13:6 不義を喜ばないで真理を喜ぶ。

13:7 そして、すべてを忍び、すべてを信
じ、すべてを望み、すべてを耐える。

13:8 愛はいつまでも絶えることがない。
しかし、預言はすたれ、異言はやみ、知
識はすたれるであろう。

水曜日 4月8日 創造における神

おそらく、あなたは聖書の最初の言葉を暗記しておられるでしょう。「初めに、神は……」〔口語訳「はじめに神は……」(創1:1)〕という言葉です。ここで神に相当するヘブライ(ハブル)語は、「エロヒム」です。この言葉は偽りの「神々」について語る時にも使われますが、唯一の真の神を指す場合、全被造物との関係において全能で、無限の力を持つ創造主、つまり私たちの理解を超えて、すべてを支配しておられる超越的な神を示します。神はとても力強いので、声を発するだけで、何かが創造されます。

しかし、次の創世記2章には、神の別の名前である「ヤハウェ」(主)が登場します。この名前は、エロヒムと結びつき(「ヤハウェ・エロヒム」〔主なる神〕)、同様に全能で、無限の力を持つ神を示します。しかし、ヤハウェという名前は、唯一の真の神の、より個人的な名前であり、神が契約の神であり、ご自分が創造された民と愛の関係にあることを強調するためにしばしば用いられます。

問4 創世記 1:1 と 2:7 における神の描写を比較してみてください。どんなことに気づきますか。

創世記2:7では、神がひざまずき、ご自分の手で最初の人間を土から形づくられる様子を想像できます。「主なる神は、土(アダマ)の塵で人(アダム)を形づくり、その鼻に命の息を吹き入れられた。人はこうして生きる者となった」〔口語訳「主なる

神は、土(アダマ)の塵で人(アダム)を形づくり、その鼻に命の息を吹き入れられた。人はこうして生きる者となった」。神は、アダムの鼻に命の息を吹き込まれるほど近くにおられます。ヤハウェという名前は、より親密な神の姿を示していますが、モーセは聖書の最初の2章で、神のこれら二つの特徴を私たちに説明するために、両方の名前を用いているのです。

なんと驚くべきことでしょう！ 私たちはここに、エロヒムとしての神の超越性と、ヤハウェとしての神の内存在性、つまり私たちに対する親密さを見ることができません。神のご性質の二つの側面、すなわち神が万物を支配しておられるという側面と、私たちのそば近くにおられるという側面について考えるのは、なんとすばらしいことでしょう。パウロがアレオパゴスの丘でアテネの人々に語ったように、「神はわたしたち一人一人から遠く離れてはおられません。……『我らは神の中に生き、動き、存在する』」[口語訳「神はわれわれひとりびとりから遠く離れておいでになるのではない。……われわれは神のうちに生き、動き、存在している」](使徒 17:27, 28)のです。

神との関係において成長するためには、神のご性質について聖書が語っていることに基づいて、明確でバランスの取れた神の姿を追い求め続けることが大切です。だからこそ、聖書の一部分だけに焦点を合わせるのではなく、全体を読むことが重要なのです。本当に、神のご性質について学ばば学ぶほど、私たちは神をもっと愛するようになります。

【参考】英語テキストにある文

Read as Elihu describes some of God's attributes in Job 36:24-33 and Job 37. Then read God's declaration of His omnipotence in Job 38 and 39. What do these passages reveal to us about God?

ヨブ記 36 章 24～33 節および 37 章で、エリフが神の御性質について述べている箇所を読んでください。次に、ヨブ記 38 章と 39 章にある、神の全能性に関する神の宣言を読んでください。これらの箇所は、神について私たちに何を明らかにしているでしょうか。

15

創 1:1 (新共同訳)
1:1 初めに、神は天地を創造された。
創 2:7 (新共同訳)
2:7 主なる神は、土(アダマ)の塵で人(アダム)を形づくり、その鼻に命の息を吹き入れられた。人はこうして生きる者となった。

※創世記 1 章、2 章全体はお手持ちの聖書をお読みください。

使徒 17:27, 28 (新共同訳)
17:27 これは、人に神を求めさせるためであり、また、彼らが探し求めさえすれば、神を見いだすことができるようにということなのです。実際、神はわたした

創 1:1 (口語訳)
1:1 はじめに神は天と地とを創造された。
創 2:7 (口語訳)
2:7 主なる神は土のちりで人を造り、命の息をその鼻に吹き入れられた。そこで人は生きた者となった。

使徒 17:27, 28 (口語訳)
17:27 こうして、人々が熱心に追い求めて捜しさえすれば、神を見いだせるようにして下さった。事実、神はわれわれひとりびとりから遠く離れておいでになる

ち一人一人から遠く離れてはられません。

17:28 皆さんのうちのある詩人たちも、『我らは神の中に生き、動き、存在する』『我らもその子孫である』と、言っているとおりです。

ヨブ 36:24~33 (新共同訳)

36:24 世の人は神の御業に賛美の歌をうたう。あなたも心して、ほめたたえよ。

36:25 人は皆、御業を仰ぎ/はるかかなたから望み見ている。

36:26 まことに神は偉大、神を知ることはできず/その齢を数えることもできない。

36:27 神は水滴を御もとに集め/霧のような雨を降らす。

36:28 雲は雨となって滴り/多くの人の上に降り注ぐ。

36:29 どのように雨雲が広がり/神の仮庵が雷鳴をとどろかせるかを/悟りうる者があるうか。

36:30 神はその上に光を放ち/海の根を覆われる。

36:31 それによって諸国の民を治め/豊かに食べ物を与えられる。

36:32 神は御手に稲妻の光をまとい/的を定め、それに指令し

36:33 御自分の思いを表される。悪に対する激しい怒りを。

のではない。

17:28 われわれは神のうちに生き、動き、存在しているからである。あなたがたのある詩人たちも言ったように、『われわれも、確かにその子孫である』。

ヨブ 36:24~33 (口語訳)

36:24 神のみわざをほめたたえる事を忘れてはならない。これは人々の歌いあがめるところである。

36:25 すべての人はこれを仰ぎ見る。人は遠くからこれを見るにすぎない。

36:26 見よ、神は大いなる者にいまして、われわれは彼を知らない。その年の数も計り知ることができない。

36:27 彼は水のしたたりを引きあげ、その霧をしたたらせて雨とされる。

36:28 空はこれを降らせて、人の上に豊かに注ぐ。

36:29 だれか雲の広がるわけと、その幕屋のとどろくわけとを悟ることができようか。

36:30 見よ、彼はその光をおのれのまわりにひろげ、また海の底をおおわれる。

36:31 彼はこれらをもって民をさばき、食物を豊かに賜い、

36:32 いなずまをもってろ手を包み、これに命じて敵を打たせられる。

36:33 そのとどろきは、悪にむかって怒りに燃える彼を現す。

※ヨブ記 37~39 章はお手持ちの聖書をお読みください。

木曜日 4月9日 インマヌエル、我らと共におられる神

もしあなたがクリスチャンでない人に、神のご性質に関する聖書の記事を紹介するとしたら、どの箇所にするでしょうか。

言うまでもなく、最善の答えはイエスでしょう。聖書は、イエスが神を反映するだけでなく、神をあらわしておられると述べています。このことを説明する聖句はたくさんありますが、最も簡潔なのはヨハネ14:9です。ここでイエスは、「わたしを見た者は、父を見たのだ」〔口語訳「わたしを見た者は、父を見たのである」〕と言っておられます。神がどんなお方であるかをもっと知るために、私たちはイエスに(彼の言葉、行い、態度、死と復活によって示された人類への大きな愛に)目を向けるべきです。

父なる神の愛と配慮は、御子イエスにおいて最も明確にあらわされています。

聖書のすばらしい点は、神がイエスの生涯について四つの豊かな視点を与え、私たちが彼の全体像を把握できるようにしてくださったことです。(ユダヤ人によって、ユダヤ人のために書かれた)マタイによる福音書では、イエスが約束の成就である待望のメシアとして描かれています。マルコによる福音書では、イエスが奉仕と犠牲の生活を生き生きと送った様子が描かれています。イエスは絶えず他者を思い、父なる神の御心に常に応えられました。ルカによる福音書では、人間性と憐れみをもって、イエスがどのように感じられたのかが記されており、私たちはその記事を読むことで、読んでいる内容が真実であると確信することができます(ルカ1:3, 4)。ヨハネによる福音書では、受肉された神の御子が描かれており、私たちは、イエスが自ら言われたとおりのお方であると信じるように招かれています。それによって、私たちの霊的な命がよみがえるのです。四福音書は、すべて同じ出来事を扱っていますが、「まったく同じ表現の仕方では描いていない。それぞれの記者は独自の経験を持っており、この多様性が、さまざまな心の必要に応えるために引き出される知識を広げ、深めるのである」(『原稿105』1900年、英文)。最近、あなたはどの福音書を読みましたか。

【参考】——Ellen G. White, Manuscript 105, 1900

“they do not represent things in just the same style. Each writer has an experience of his own, and this diversity broadens and deepens the knowledge that is brought out to meet the necessities of varied minds.”

問5 マタイ 1:23 では、イエスに特別な名前が与えられています。神のご性質を理解するうえで、なぜこのことが重要なのでしょうか。マタイ 28:20 を、最後の部分に注目しながら読んでください。この二つの聖句を比較して、どんなことに気づきますか。

私たちは、神のご性質という壮大な主題の表面に触れたにすぎません。神は私たちの理解をはるかに超えて偉大なお方、驚くべきお方であり、私たちはその神について永遠に学び続けることでしよう。

【参考】英語テキストにある文

God deserves our praise for who He is and what He has done and is doing in our lives. Take some time now to offer up a prayer of praise to God for who He is. Be specific about what the Bible tells you about God. (For example, “Thank You, God, for being _____, as You tell me in _____.”)

神が何者であり、また私たちの人生の中でこれまでになさったこと、今もなさっていることゆえに、神は私たちの称賛に値するお方です。今、少し時間を取って、神がどんなお方であるかをたたえる祈りをささげましょう。聖書が神について語っていることを具体的に挙げて祈ってください。(例:「神様、感謝します。あなたが『……』であられることを、また、あなたが『……』で私に語ってくださることを。)」

ヨハ 14:9 (新共同訳)

14:9 イエスは言われた。「フィリポ、こんなに長い間一緒にいるのに、わたしが分かっていないのか。わたしを見た者は、父を見たのだ。なぜ、『わたしたちに御父をお示してください』と言うのか。

ルカ 1:3、4 (新共同訳)

1:3 そこで、敬愛するテオフィロさま、わたしもすべての事を初めから詳しく調べていますので、順序正しく書いてあなたに献呈するのがよいと思いました。

1:4 お受けになった教えが確実なものであることを、よく分かっていたきたいのであります。

マタ 1:23 (新共同訳)

1:23 見よ、おとめが身ごもって男の子を産む。その名はインマヌエルと呼ばれる。」この名は、「神は我々と共におられる」という意味である。

マタ 28:20 (新共同訳)

28:20 あなたがたに命じておいたことをすべて守るように教えなさい。わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいる。」

ヨハ 14:9 (口語訳)

14:9 イエスは彼に言われた、「ピリポよ、こんなに長くあなたがたと一緒にいるのに、わたしがわかっていないのか。わたしを見た者は、父を見たのである。どうして、わたしたちに父を示してほしいと、言うのか。

ルカ 1:3、4 (口語訳)

1:3 テオピロ閣下よ、わたしもすべての事を初めから詳しく調べていますので、ここに、それを順序正しく書きつづって、閣下に献じることになりました。

1:4 すでにお聞きになっている事が確実であることを、これによって十分に知っていたいたためであります。

マタ 1:23 (口語訳)

1:23 「見よ、おとめがみごもって男の子を産むであろう。その名はインマヌエルと呼ばれるであろう」。これは、「神われらと共にいます」という意味である。

マタ 28:20 (口語訳)

28:20 あなたがたに命じておいたことを守るように教えよ。見よ、わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいるのである。」

金曜日

4月10日

さらなる研究

神はご自分の民に、神の品性をあらわしなさいと呼びかけられますが、そのためには、私たち自身が神を知る必要があります。私たち人間の罪深い目は、神の聖なる完全な道をしばしば誤解しがちですが、神をはっきりと見る最良の方法は、神の言葉である聖書を探求することです。

「人間の心という水路を通して世代から世代へと受け継がれてきた父性愛も、人間の魂に湧き出た優しさの泉も、無限で尽きることのない神の愛に比べれば、果てしない大海に流れ込む小川にすぎない。神の愛を、舌は語ることができず、ペンは描くことができない。あなたは暮らしの中で、毎日、その愛について瞑想するかもしれない。それを理解しようと熱心に聖書を調べるかもしれない。天の父の愛と慈悲を理解しようと、神があなたに与えてくださったあらゆる力と能力を駆使するかもしれない。しかし、その先には無限の広がりがある。何世紀にもわたってその愛を研究しても、この世のために御子を死に渡された神の愛の長さや広さ、深さや高さを完全に理解することはできない。永遠でさえ、それを完全に明らかにすることはできない。しかし、私たちが聖書を研究し、キリストの生涯とあがないの計

画について瞑想するにつれて、これらの偉大な主題は、私たちの理解の中で徐々に明らかになっていくだろう」(『教会への証』第5巻 740 ページ、英文)。

【参考】 — Ellen G. White, *Testimonies for the Church*, vol. 5, p. 740.

“All the paternal love which has come down from generation to generation through the channel of human hearts, all the springs of tenderness which have opened in the souls of men, are but as a tiny rill to the boundless ocean when compared with the infinite, exhaustless love of God. Tongue cannot utter it; pen cannot portray it. You may meditate upon it every day of your life; you may search the Scriptures diligently in order to understand it; you may summon every power and capability that God has given you, in the endeavor to comprehend the love and compassion of the heavenly Father; and yet there is an infinity beyond. You may study that love for ages; yet you can never fully comprehend the length and the breadth, the depth and the height, of the love of God in giving His Son to die for the world. Eternity itself can never fully reveal it. Yet as we study the Bible and meditate upon the life of Christ and the plan of redemption, these great themes will open to our understanding more and more.”

話し合いのための質問

- ① 今週研究した神の属性について考えてみると、神に対するあなたの理解に最も影響を与えたのはどれですか。
- ② 神との関係を深め、強めるために、ほかにどんな神の属性を学ぶことができますか。
- ③ 家族や友人と一緒に、『キリストへの道』の第1章を読んだり、聞いたりして、共に話し合ってみてください。この章を通して、神のご性質やイエスについて、どんな新しい洞察を得ることができましたか。
- ④ 多くの人が神について歪んだイメージを持っていますが、イエスはそれを正すために来られました。あなたは周りの人たちに、神のご性質について明確で正確なイメージを伝えるために、どんなことができるでしょうか。
- ⑤ 月曜日に学んだことをもう一度考えてみましょう。私たちは明らかに罪深く、聖い者ではありませんが、聖書は神の民が聖なる生活を送ることについても明確に述べています。I ペトロ(ペテロ)1:13~16、ローマ 6:22、ヘブライ(ヘブル)12:14 を読んでください。聖なる神は、聖なる者になりなさいと私たちを招いておられます。聖なる生活を送るとは、実際にはどういうことでしょうか。

Summary: From the beginning of Creation, God has desired to be in a close relationship with us. Although our understanding of His character is the target of Satan's attacks, God reveals Himself to us most clearly through His Word and through the life of His Son, Jesus. Ultimately, having a clear, beautiful picture of God is essential if we want to deepen our relationship with Him.

要約: 創造の初めから、神は私たちと親密な関係を築きたいと願っておられます。私たちが神の御品性を理解しようとすることは、サタン攻撃的となりますが、神は御言葉と御子イエスの生涯を通してご自身を私たちに最も明確に示してくださいます。結局のところ、神との関係を深めたいと願うなら、神の鮮明で美しい姿を知ることが不可欠なのです。

I ペト 1:13~16 (新共同訳)

1:13 だから、いつでも心を引き締め、身を慎んで、イエス・キリストが現れるときに与えられる恵みを、ひたすら待ち望みなさい。

1:14 無知であったころの欲望に引きずられることなく、従順な子となり、

1:15 召し出してくださった聖なる方に倣って、あなたがた自身も生活のすべての面で聖なる者となりなさい。

1:16 「あなたがたは聖なる者となれ。わたしは聖なる者だからである」と書いてあるからです。

ロマ 6:22 (新共同訳)

6:22 あなたがたは、今は罪から解放されて神の奴隷となり、聖なる生活の実を結んでいます。行き着くところは、永遠の命です。

ヘブ 12:14 (新共同訳)

12:14 すべての人との平和を、また聖なる生活を追い求めなさい。聖なる生活を抜きにして、だれも主を見ることはできません。

I ペテ 1:13~16 (口語訳)

1:13 それだから、心の腰に帯を締め、身を慎み、イエス・キリストの現れる時に与えられる恵みを、いささかも疑わずに待ち望んでいなさい。

1:14 従順な子供として、無知であった時代の欲情に従わず、

1:15 むしろ、あなたがたを召して下さった聖なるかたにならって、あなたがた自身も、あらゆる行いにおいて聖なる者となりなさい。

1:16 聖書に、「わたしが聖なる者であるから、あなたがたも聖なる者になるべきである」と書いてあるからである。

ロマ 6:22 (口語訳)

6:22 しかし今や、あなたがたは罪から解放されて神に仕え、きよきに至る実を結んでいる。その終極は永遠のいのちである。

ヘブ 12:14 (口語訳)

12:14 すべての人と相和し、また、自らさよくなるように努めなさい。きよくならなければ、だれも主を見ることはできない。